

□肖像画の巨匠 石田閑山(いしだ かんさん)

大正11年(1922年)、旭川市に近い上川郡東川村に生を受けた石田さんは、太平洋戦争の戦士として戦地に赴き、終戦後の昭和23年(1948年)、真狩村での生活がはじまりました。

肖像画を得意とする石田さんは、軍人としての勤めとともに紙と鉛筆があれば似顔絵を描いてはほかの軍人たちを喜ばせていたそうです。

わずか3年間であっても、村民の肖像画はもちろん、当時あった真狩劇場の緞帳に絵を描くなど、絵を通じて村民とふれあい、村民の目を大いに楽しませてくれました。

昭和26年(1951年)に東京へ行き、日本画家内山観月のもとでさらに肖像画の勉強にうちこみ、昭和36年、米国ホワイトハウスから依頼され、当時のケネディ大統領の肖像画を描くなど、世界的に知られる画家となり、数々の賞を受けるようになりました。

平成5年8月に完成した交流プラザのロビーには、200号の大作「羊蹄山」が掲げられ、村の人たちや観光客を楽しませてくれています。

羊蹄ふるさと館展示作品



 羊 蹄 山

A-24-1

真狩村交流プラザ 展示作品(200号) 羊蹄山



真

「羊蹄山」

石田 閑 山

千葉県安房郡丸山町川谷60
☎ (0470) 46-3520

1952年～1958年一水会所属。
1961年ケネディ大統領肖像依頼、製作。
1969年日本肖像画院創立代表。

1986年閑山会結成。国際アカデミー賞受賞。
1989年日本肖像画道論でU.S.A. コンチネンタル
大学より芸術学博士の称号を授与さる。